

## (6) 救援物資①

自社事業の復旧に加えて、被災地へ関西と北海道から救援物資の搬入を行い自社配送が困難な被災地へは、自衛隊、航空会社のご協力のもと物資輸送を実施しました。

日程	自治体	配送先	物品	数量	配送手段・経路
3/13	宮城県	宮城県庁 登米市事務所	水(2L) カップ麺 箸・レジ袋	10,944本 10,752個 16,000膳	10トン車2台 所沢→仙台
3/14	青森県	八戸体育館	おにぎり	1,350個	航空機(JAL) 大阪→青森→八戸
3/14	茨城県	茨城県庁	おにぎり 菓子パン	18,550個 10,000個	航空機(JAL) 大阪→羽田→水戸
3/15	岩手県	営農支援センター	菓子パン	24,000個	フェリー 函館→青森→盛岡
3/15	福島県	いわき市消防 福島市役所	おにぎり 菓子パン	25,000個 10,000個	航空機(JAL) 大阪→羽田→福島
3/18	宮城県	矢本給食センター	おにぎり 菓子パン	40,000個 8,000個	航空機(自衛隊) 小牧→福島→仙台
3/18	福島県	いわき市役所	菓子パン	2,000個	航空機(自衛隊) 小牧→福島→いわき

## (6) 相馬市学校代替給食の提供②

### 経緯

相馬市の給食設備被災により、生徒・児童・園児の昼食供給ができないため、立谷市長より給食代替弁当の要請を受ける。

### 内容

(1) 日程 4/20(水)、21(木)、23(金)の3日間

(2) 対象者数 **3,459人**

幼稚園(7)150人、小学校(10)2,190人、中学校(5)1,119人

(3) メニュー

おにぎり、弁当、調理パン、ベーカリー、惣菜、牛乳、果物、デザートから日別にメニューを変更

(4) 配送 関東(市川CDC)から相馬市へ直送便(22校に仕分け)



# 1. 全国の店舗で義援金の受付

# 2. 「夢を応援基金」を創設

夢を応援基金

元氣にむかう日本



未来へ向かう若者たちへ  
「夢を応援基金」はじめました。



震災復興には、若い人達の力が必要と考え、修学支援を目的とした「夢を応援基金」を創設し、高校・高等専門学校・専門学校・大学等への進学を希望する東日本大震災で被災した中学生、高校生等を支援。

- ・対象人数 1,000人
- ・卒業するまで1人あたり、毎月30,000円を給付(返還義務なし)

# BCの基本的考え方

国の大規模災害対策に合わせ策定

1. 大規模災害対策
2. 火山防災対策
3. 大規模水害対策
4. 新型インフルエンザ
5. その他  
(海溝型地震編・原発事故編)

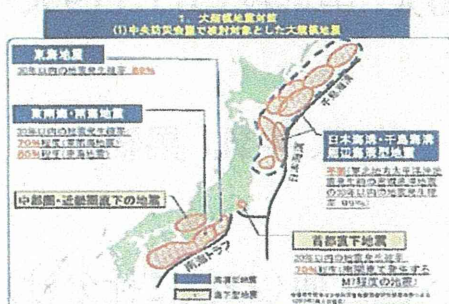
全国火山警戒レベル

LAWSON



大規模地震

LAWSON



《大規模水害対策》  
各河川の実態に合わせた対応や過去の発生した水害地域、埋立地等での課題等で検討されている。

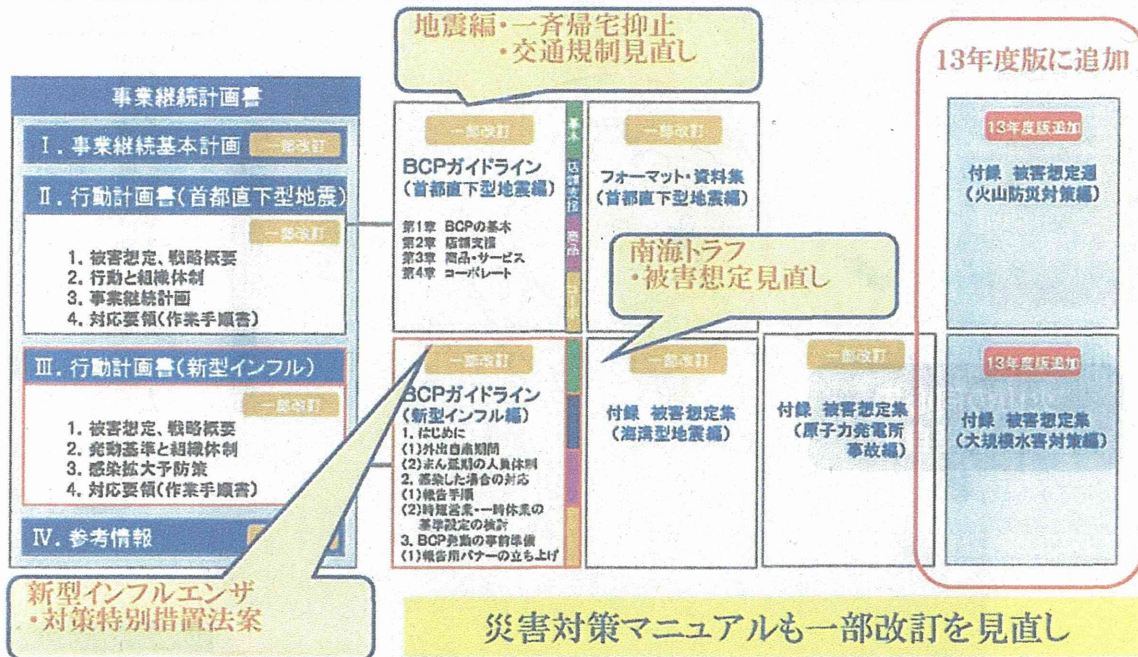
# 2015年度版「BCPガイドライン」全体構成

複写禁止

LAWSON

BCPガイドラインの全体構成を5部構成から7部構成に変更予定。

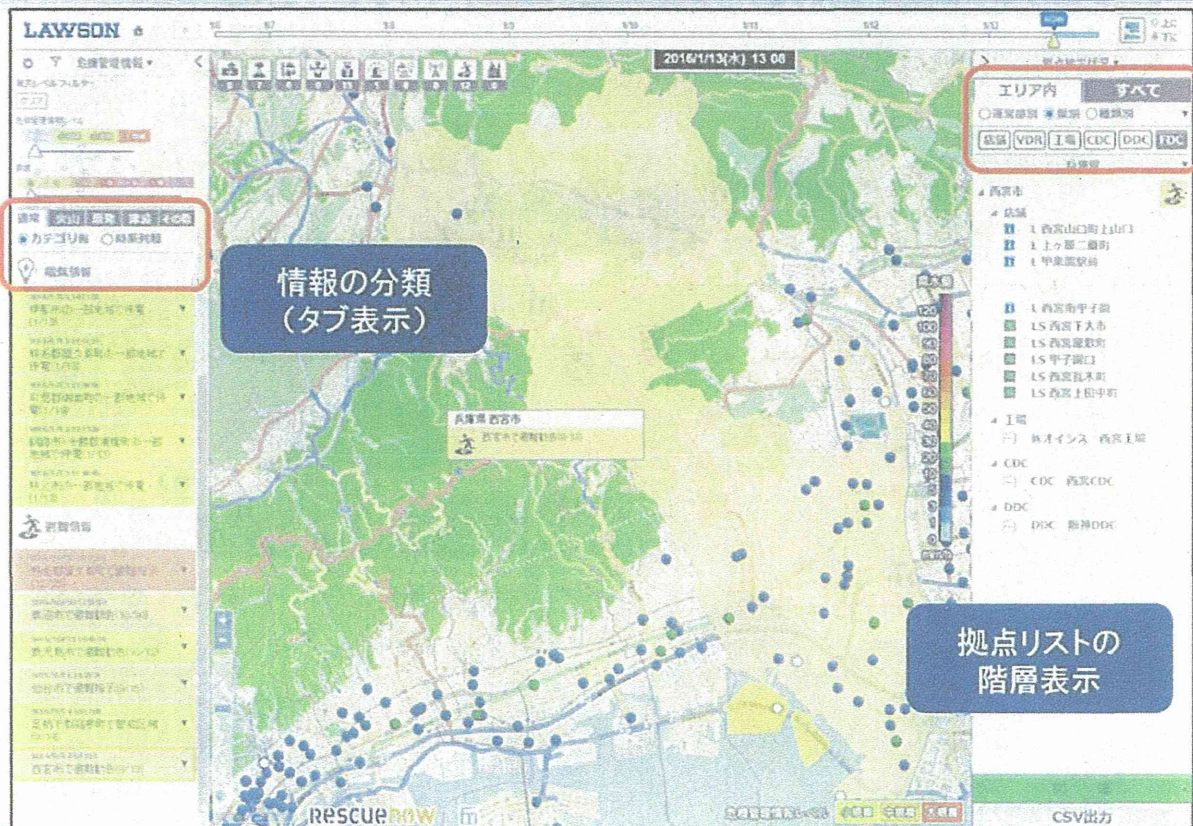
- ・「火山防災対策編」「大規模水害対策編」を追加。
- ・「首都圏直下・海溝型地震編」「新型インフルエンザ編」を改訂。



# 災害情報地図システム(開発中)①

複写禁止

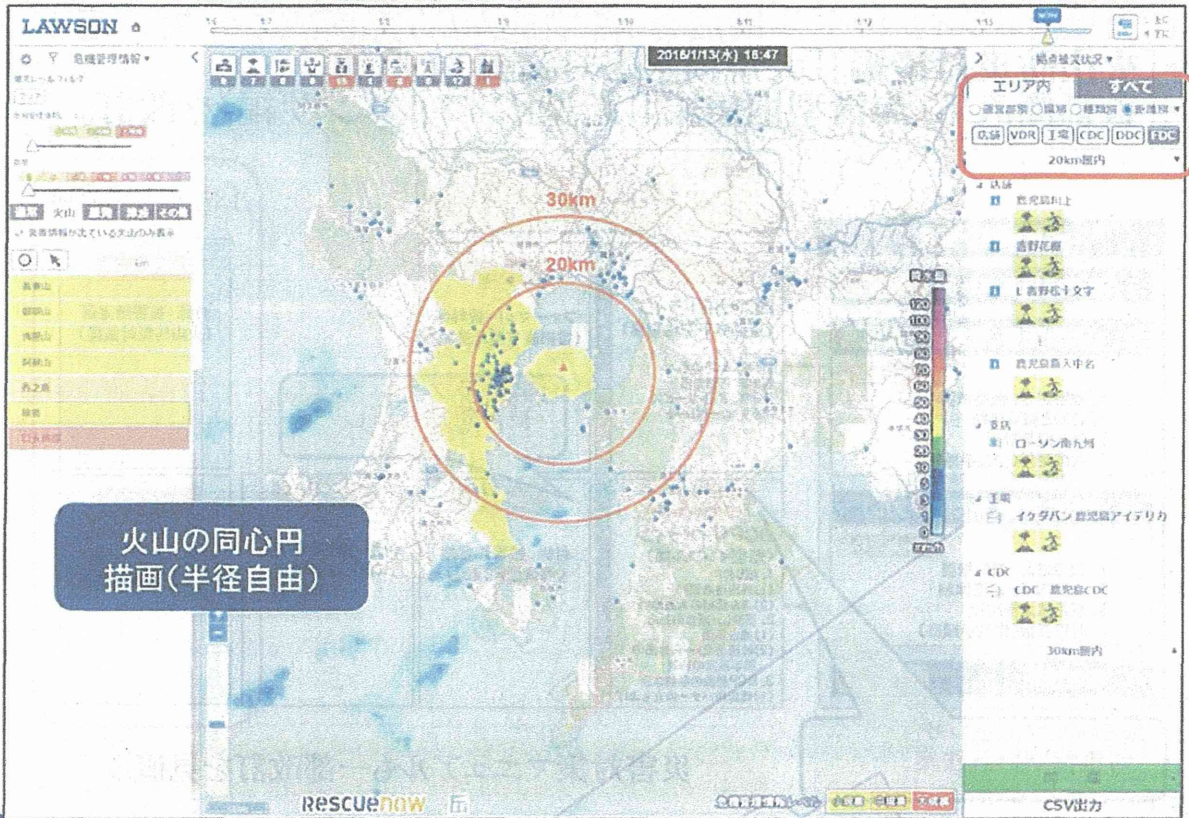
LAWSON



# 災害情報地図システム(開発中)③

複写厳禁

LAWSON

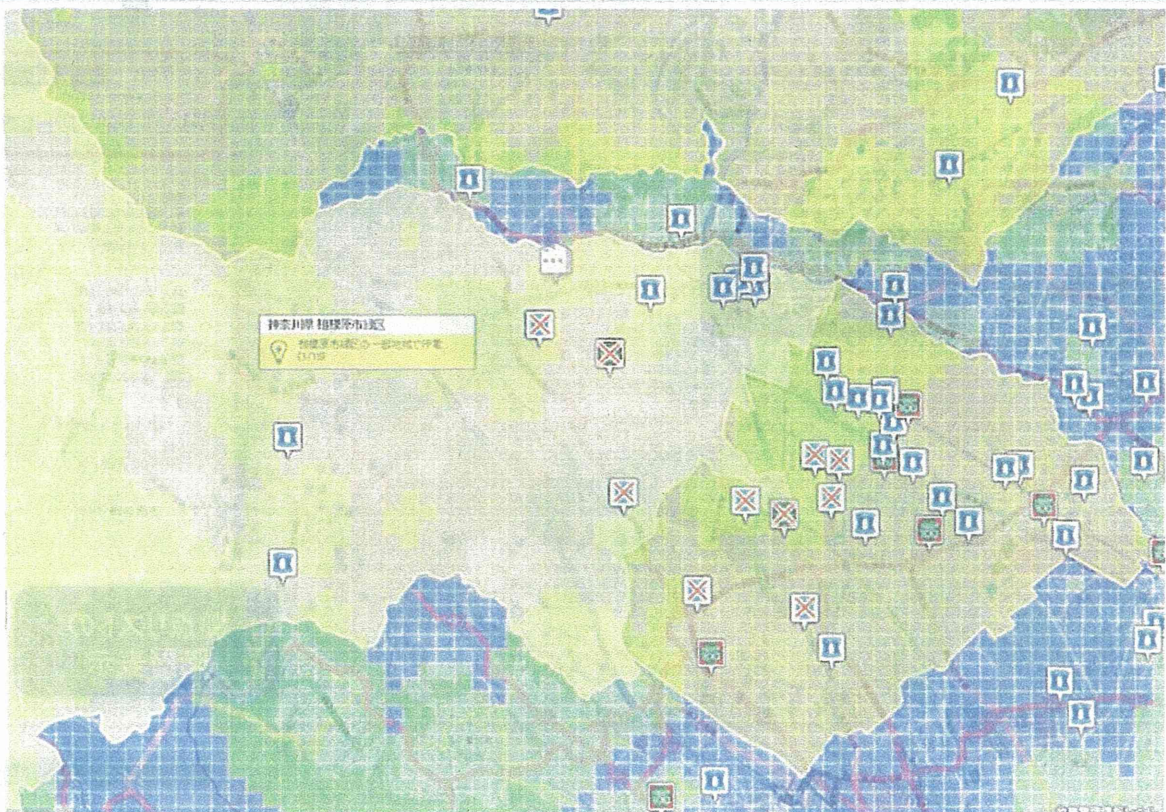


火山の同心円  
描画(半径自由)

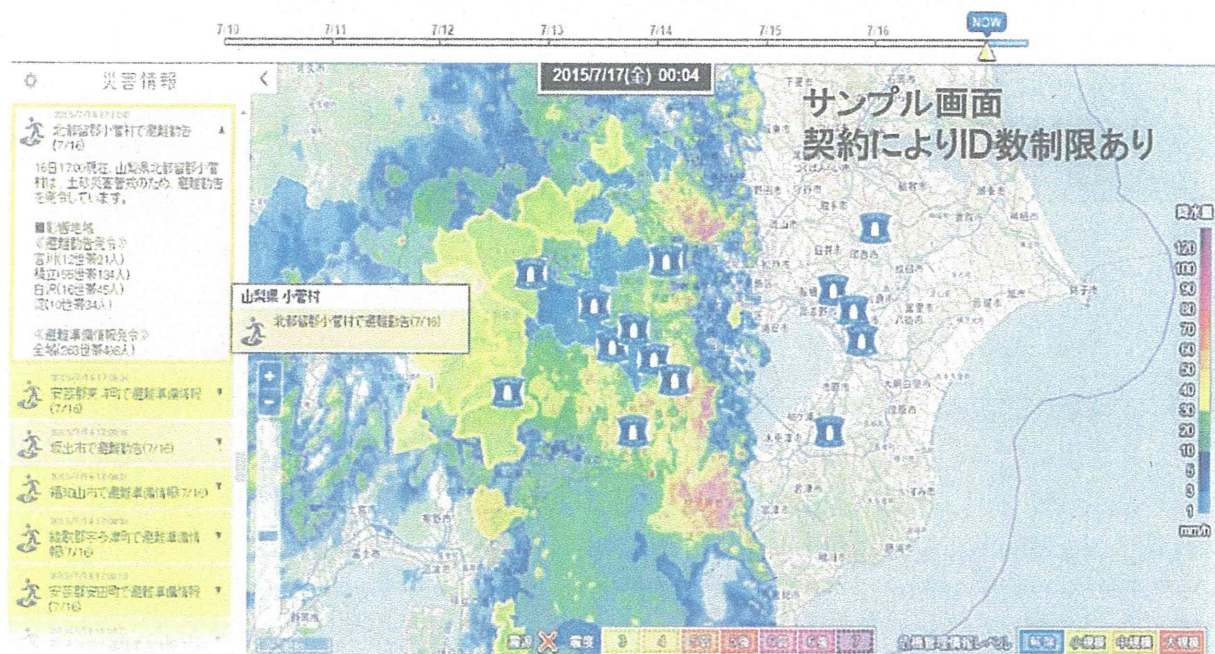
# 営業状況イメージ(休業) システム連携検討中

複写厳禁

LAWSON



地図上に「拠点+震度分布・降水量・避難情報等」を表示



将来は道路ごとの予測降雨量にも対応予定(お取引先への紹介も)

## 企業理念

私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。

ビジョン:

実行一流企業へ。

全員でお客様のニーズと変化を考え抜き、スピードをもって実行し、マチの暮らしにとってなくてはならない存在になります。

行動指針:

1. お客様、マチ、お店を起点に考えます。
2. 基本を徹底し革新に挑戦します。
3. 仮説、実行、検証の質とスピードを高めます。
4. 規律のもとで自律し、チームでやりぬきます。
5. 事故の成長を求め、仲間の成長を支えます。



第21回 日本集団災害医学会総会・学術集会  
2016年2月27日(土)～29日(月)山形ビッグウイング(山形国際交流プラザ)  
第3日目 2月29日(月)9:00～10:30 パネルディスカッション9  
「ロジスティクスの未来Ⅱ ロジスティクスのあの時と今そしてこれから  
—東日本大震災岩手県におけるロジスティクスより—」

## PD9-4 大震災等の災害時における 衛星通信の役割について

2016年2月29日

スカパーJSAT株式会社

宇宙・衛星事業本部 法人事業部 部長代行

兼 第1法人事業チーム長 瀬尾 淳(せのおすなお)

1

### ■お話ししたいこと

#### 1. 私と東北との関わり <あの時>

- ・2011年 岩手、宮城、福島に衛星通信設備を184箇所設置。(総務省1次補正事業)
- ・2012年 災害時に簡易な操作で設置が可能な小型地球局の研究開発。(東北大とコラボ)  
被災地視察のコーディネート。(経産省トルコ共和国技術者招聘事業)
- ・2013年 ○○○○省の衛星設備更新サポート。
- ・2014年 ○○○○会社3社の衛星設備更新サポート。
- ・2015年 岩手医科大学ほかと災害医療に最適な衛星システムの研究に着手。

#### 2. その経験から感じていること <今そして>

- ・「人の命を守る」衛星通信  
災害時、衛星は人の命をつなぐ唯一無二の通信手段

#### 3. 私たちのやるべきこと <これから>

- ・私たちに何が出来るか  
「備える」こと、「つながる」こと。

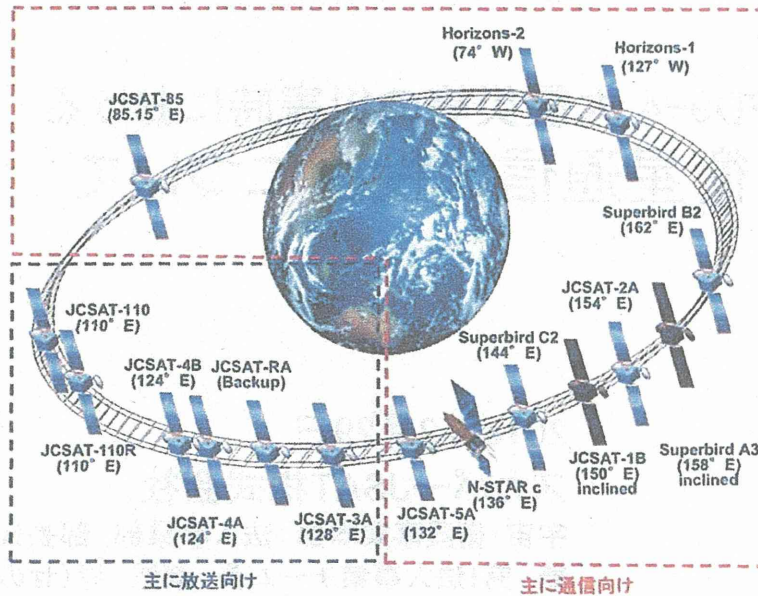
私の岩手県との関わりはいずれも短期の滞在で、外から来て、見て、感じたことであることをお許しください。

2

# スカパーJSATの保有・運用する通信衛星



✓ 現在15機の衛星を保有・運用中 (13機+バックアップ衛星2機)



SKY Perfect JSAT Corporation CONFIDENTIAL

3

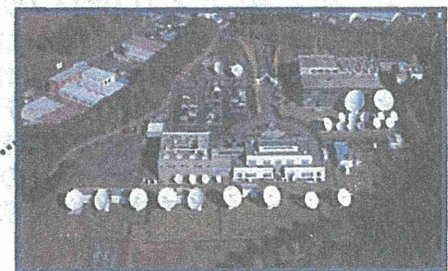
# スカパーJSATの保有・運用する衛星管制局



**Gunma Satellite Control Station (GSCS)**  
 - 旧JSATの副局  
 (JSAT衛星用アンテナ・RF設備が設置)



**Superbird Platform West (SPW)**  
 - 旧ISCCの副局  
 (SB衛星用アンテナ・RF設備が設置)  
 - テレポート運用の副局



**Superbird Platform East (SPE)**  
 - 旧ISCCの主局  
 (SB衛星用アンテナ・RF設備が設置)  
 - 衛星運用及び回線運用の副局



**Yokohama Satellite Control Center (YSCC)**  
 - 旧JSATの主局 (JSAT衛星用アンテナ・RF設備が設置)  
 - 衛星運用、回線運用、及びテレポート運用の主局

発災直後からそれぞれの衛星ネットワークが活動

- 防衛省  
(陸・海・空／固定局、車載局、可搬局)
- 警察庁(固定局、車載局、可搬局)
- 海上保安庁(固定局／船テレ映像伝送)
- 内閣府(固定局、可搬局)
- 国土交通省(固定局、車載局、可搬局)



被災県での利用状況



取扱注意

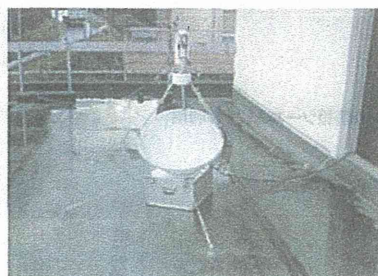
Strictly confidential

あのとき弊社は・・・緊急の回線、設備提供

- 市町村等自治体の災害対策本部及び避難所等へのインターネット接続環境の提供 2011年3月～順次  
(慶応大学WIDEプロジェクト、PDRNET:震災復興インターネットプロジェクト等と連携)
- 宮古地区 赤前小学校、大船渡市 三陸支所、釜石市 栗林小学校、陸前高田市 米崎コミュニティセンター(高田病院)、気仙沼市 総合体育館(唐桑総合支所)、石巻市 大須小学校、牡鹿保険センター、PCAT石巻本部(涌谷町研修館)、石巻ロイヤル病院PCAT。



陸前高田市(衛星固定局)



気仙沼市(衛星可搬局)



災害対策本部及び医療施設でのインターネット利用





2011.3.30 気仙沼市総合体育館

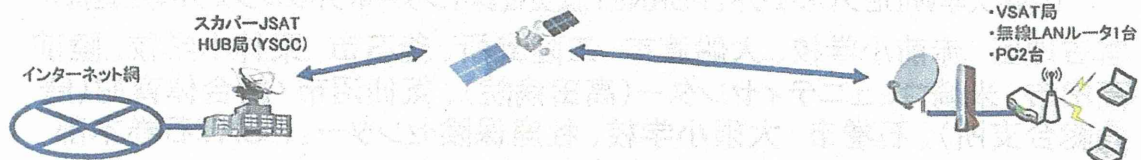
写真:「ICTの観点からみる被災地の課題～3ヶ月間の支援活動より～」大江将史:自然科学研究機構・国立天文台 PDRNET:震災復興インターネットプロジェクト より拝借。

SKY Perfect JSAT Corporation CONFIDENTIAL

## 被災地の184箇所に衛星設備を設置



- 概要:総務省殿の平成23年度第1次補正予算事業として、緊急随契で当社が受注。(5月26日契約)
  - 地上回線が壊滅的な被害を受けた被災地域において、迅速かつ安定的に情報のやりとりが可能となるよう、小型衛星通信システム(VSAT)を活用して情報通信環境の構築(役務提供)を行うもの。
- 提供範囲(1拠点あたり):衛星回線経由でのインターネット接続、VSAT局、無線LANルータ、PC2台。



※無線LANルータ、PC2台まで含めて、当社が電気通信役務の提供を請け負う。

- 設置数:184箇所
- 設置箇所内訳および利用用途
  - 仮設住宅集会場:122箇所(全体の67%)
    - 仮設住宅住民の就職活動情報閲覧等、日々の情報ツールとしての利用。
  - 役場(支所含む):7箇所
    - 他自治体からの支援職員による利用、役場内における公共利用。
  - 医療支援:4箇所
    - 仮設診療所内医師、事務職員による利用。
  - その他:50箇所
    - 主に復興支援団体職員の通信手段としての利用。
- 提供期間
  - 事業としては2012年3月末までの提供であったが、現地からの強い要望に応え、2013年3月末まで当社として提供を継続。



名取市仮設住宅ブログ  
http://natorishikasetsu.blog.fc2.com/blog-category-1.html より

# 被災地の184箇所へ衛星設備を設置



設置工事様子



アンテナ設置概観1



アンテナ設置概観2



仮設住宅通線  
(屋外) (屋内)



屋内設置概観1



屋内設置概観2



転載は事前にご相談下さい。スカパーJSAT(株)

# 2011年にお世話になった方々



・「つなぐ」のは「人」。  
→自らが被災者でありながらひたすら献身的な方々

